

MRI 造影剤検査説明書（院外依頼用）

以下の通り概要を説明します。

「必要性」と「副作用」をご考慮の上、造影剤の使用にご同意いただける方は、別紙の「MRI 造影剤使用同意書」にご署名の上、病院職員へお渡してください。

なお、署名された後に同意を撤回する事も出来ます。

1. 造影剤使用の必要性について

造影剤を静脈内に注射し、血管や色々な臓器を見えやすくします。腫瘍などの病変もわかりやすくなり、正確な診断ができます。

2. 造影剤の副作用・合併症について

造影剤による何らかの副作用が 100 人中 1 人くらいの頻度で起こることが学会等で報告されています。多くはかゆみ、じんま疹、吐き気といった軽い症状で治療の必要はありません。ただし、冷汗、血圧低下、呼吸困難、ショックといった重篤なものが、119 万人に 1 人くらいの頻度であり、極めてまれに重篤なショックでの死亡が、83 万人に 1 人の頻度で報告されています。また、以前の造影検査で症状がなかった方でも、その後の検査で副作用、合併症を生じる場合があります。注意が必要です。

3. 緊急時の対応について

上述のような副作用が発生した場合は、検査担当医師や看護師が適宜対応致します。重篤な副作用、偶発症が起きた場合は、他科の医師と協議し必要な処置を行いますが、症状によっては入院治療等が必要になることがあります。その際の診療も通常の保険診療にて行います。

4. 検査前の処置について

検査前の食事は取らないでください。水分摂取の制限はありませんが、乳飲料製品は飲食されないのでください。お薬の服用は、担当医師にご確認ください。また、検査当日に体調が悪い方は、担当職員へお申し出ください。

5. 検査後の生活について

造影剤は尿と一緒に排泄されますので、普段より多めに水分を摂取して下さい。食事も普段通り摂取して頂いて構いません。万一、検査後時間が経ってから体調が悪くなられた場合には、かかりつけ医、及び、海老原総合病院（電話：0983-23-1111）にご相談ください。

6. 検査の同意について

この MRI 造影検査説明書の内容を読み、造影剤の使用に同意される場合、別紙の「MRI 造影剤使用同意書」に署名の上、担当者へお渡してください。なお、一旦検査に同意し署名された後でも同意を撤回することもできます。また、検査当日に体調が悪い方は、担当職員へお申し出ください。